

コベルコ建機

6t～10t未満

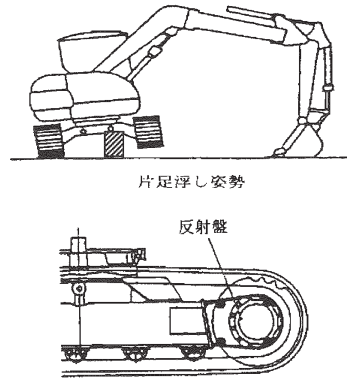
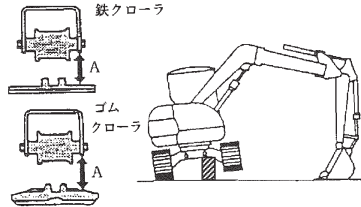
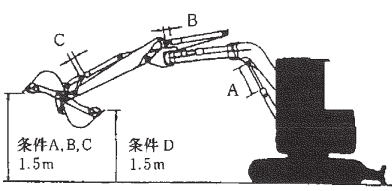
適用範囲	モデル名		SK75UR-5	SK75SR-3	SK75SR+	
	適用号機		YR08501～	YT25001～	YT18001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	検査基準値			
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度				
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2420±30	2420±30	2420±30
		ローアイドルリング	min ⁻¹	1050	1050	1050
		(冷却水温)	(°C)	(60～90)	(60～90)	(60～90)
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	(作動油温)	(°C)	(45～55)	(45～55)	(45～55)
		弁すき間				
		吸気弁 すき間	mm	0.4	0.4	0.4
		排気弁 すき間	mm	0.4	0.4	0.4
		(測定条件)	()	(冷態時)	(冷態時)	(冷態時)
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差	MPa	3.04	3.04	3.04
		(冷却水温)	kg/cm ²	(-)	(-)	(-)
		(回転速度)	(min ⁻¹)	(250)	(250)	(250)
走行性能	最高速度	ゴム鉄	min ⁻¹	52.5～62.5	52.5～62.5	52.5～62.5
		(測定方法・条件)				
履帯(クローラベルト)	張り(たわみ量)	測定位置・条件(kgとNの両方で表記)	mm	140～150	140～150	140～150
	鉄	測定方法・条件(図面番号表示)	mm	200～230	200～230	200～230
リニュー	リンクピッチの伸び	mm	155.6	154	155.6	
	測定方法・条件					
履板取付けボルト締付けトルク	測定方法・条件	N・m	294	245	294	
		kg・m	30	25	30	

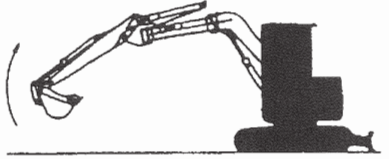
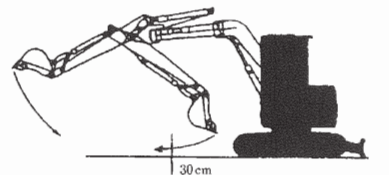
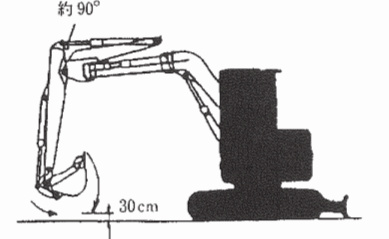
★印：新車基準値を表す。

検査基準値									

適用範	モデル名		SK75UR-5	SK75SR-3	SK75SR+			
	適用号機	超小旋回	後方超小旋回	後方超小旋回	後方超小旋回			
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	検査基準値					
作業装置	作業機 自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) (作業装置姿勢) (図面番号表示)	mm (min) (°C)	(5) (4 5~55) [図-03]	(5) (4 5~55) [図-03]	(5) (45~55) [図-03]		
	シリンダ 自然伸縮	アームシリンダ (標準/クレン) (作業装置姿勢) (図面番号表示) アームシリンダ (標準/クレン) (作業装置姿勢) (図面番号表示) バケットシリンダ (作業装置姿勢) (図面番号表示) ブレードシリンダ (作業装置姿勢) (図面番号表示) (作動油温)	mm (°C)	3.0 [図-03]	3.0 [図-03]	3.0 [図-03]		
作業装置	作業機速度	アーム上げ (作業装置姿勢) (図面番号表示)	S	3.0~3.6 [図-04]	2.7~3.3 [図-04]	3.0~3.6 [図-04]		
		アームシリンダ伸ばし縮め	S	2.6~3.2	1.9~2.5	2.6~3.2		
		(作業装置姿勢) (図面番号表示)	S	2.5~3.1 [図-05]	2.5~3.1 [図-05]	2.5~3.1 [図-05]		
		バケットシリンダ伸ばし縮め (作業装置姿勢) (図面番号表示) (性能測定条件) (荷重・設定モード等)	S S	2.7~3.3 2.0~2.6 [図-06]	3.5~4.1 2.1~2.7 [図-06]	2.7~3.3 2.0~2.6 [図-06]		
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (性能測定条件) (設定モード等)	MPa k g/cm ²	29.4 300 (油温 50°C) [En g・Hi 7 ¹]	29.4 300 (油温 50°C) [En g・Hi 7 ¹]	29.4 300 (油温 50°C) [En g・Hi 7 ¹]		
	動力伝達装置	旋回ベアリング 取付けボルト の締付け	アウトナーレース取付け ボルトの締付けトルク	N・m k g・m	—	—	—	
インナーレース取付け ボルトの締付けトルク			N・m k g・m	279 28.4	279 28.4	279 28.4		
旋回減速機 の取付けボルト の締付け		油圧モータ取付けボルト の締付けトルク	N・m k g・m	—	—	—		
		旋回減速機取付けボルト の締付けトルク	N・m k g・m	279 28.4	279 28.4	279 28.4		

検査基準値								

<p>走行速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件 作動油温 ; 50±5℃ 左右の履帯の張り均等 ・準備 走行モータカバーに、マグネット付反射盤を取付ける。 図のように旋回フレームを約90°旋回してアタッチメントを使用して片足のシュープレートが地面から浮くようにする。 ・測定 エンジン回転数 ; ハイアイドル 走行2速スイッチ ; 2速 測定箇所 ; 右、左 方法 ; ストロボ回転計で回転数測定 	 <p style="text-align: center;">片足浮し姿勢</p> <p style="text-align: center;">反射盤</p> <p style="text-align: center;">反射盤貼付位置</p> <p style="text-align: center;">図-01</p>
<p>クローラの張り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図のように 旋回フレームを約90°旋回してアタッチメントを使用して片足のシュープレートが地面から浮くようにする。 ・クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュー上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M”マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。 	 <p style="text-align: center;">鉄クローラ</p> <p style="text-align: center;">ゴムクローラ</p> <p style="text-align: center;">図-02</p>
<p>シリンダ自然降下量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件 作動油温 ; 50±5℃ 水平堅固な平坦地 シリンダ交換直後の場合は、シリンダ内のエア抜き後にします。 アームシリンダはストロークエンド30mm動いた(クッション範囲を外した)状態 ・準備 バケット空荷、アーム最伸(但しアームシリンダ30mm伸びた位置)、バケット爪先1.5m高さを保持する。 ・測定 エンジンキー OFF 後5分間経過時を測定する。 3回測定し、平均を測定値とする。 	 <p style="text-align: center;">条件A,B,C 1.5m</p> <p style="text-align: center;">条件D 1.5m</p> <p style="text-align: center;">図-03</p>

<p>ブームシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件 作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル 作業モード ; S クッションストロークを除く作動時間 ・準備 バケット空荷で平坦地 ・ブーム操作レバー・フルストロークでバケット地面と最高位置の間の作動所要時間を測定する。 測定は3回行い、平均を測定値とする。 	 <p style="text-align: center;">図-04</p>
<p>アームシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件 作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル 作業モード ; S クッションストロークを除く作動時間 ・準備 バケット空荷で平坦地 ・バケット爪先が地上約30cm高くなる姿勢で、アーム操作レバー・フルストロークで全ストローク作動所要時間を測定する。 測定は3回行い、平均を測定値とする。 	 <p style="text-align: center;">30cm</p> <p style="text-align: center;">図-05</p>
<p>バケットシリンダ速度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件 作動油温 ; 50±5℃ エンジン ; ハイアイドル 作業モード ; S クッションストロークを除く作動時間 ・準備 バケット空荷で平坦地 ・バケット爪先が地上約30cm高くなる姿勢で、バケット操作レバー・フルストロークで全ストローク作動所要時間を測定する。 測定は3回行い、平均を測定値とする。 	 <p style="text-align: center;">約90°</p> <p style="text-align: center;">30cm</p> <p style="text-align: center;">図-06</p>

コベルコ建機

クレーン時の旋回速度測定

適用範囲		モデル名		SK10SR-2	SK17SR-3	SK20SR-5	SK27SR-5	SK30SRST-5
		後方小旋回		後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回
		適用号機		PA05001~	PU08001~	PM10609~	PV33453~	PD00101~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	11.6~15.6 図-07	13.3~15.0 図-07	13.4~14.8 図-07	13.4~14.8 図-07	13.3~15.0 図-07

適用範囲		モデル名		SK200-8	SK225SR	SK235SR-2	SK250-8
		後方超小旋回		後方超小旋回	後方超小旋回	後方超小旋回	後方超小旋回
		適用号機		YN56001~	YB03501~	YF02501~	LQ07001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	12.5±0.7 図-07	12.5±0.7 図-07	12.5±0.7 図-07	10.2±0.7 図-07

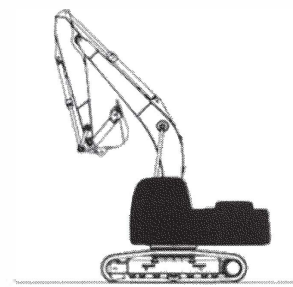
適用範囲		モデル名		SK30SR-5	SK35SR-5	SK40SR-5	SK50SR-5	SK20UR-2
		後方小旋回		後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回
		適用号機		PW46519~	PX21105~	PH06609~	PJ09807~	PB00801~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	13.1~14.5 図-07	13.1~14.5 図-07	13.2~14.6 図-07	13.2~14.6 図-07	12.8~14.3 図-07

適用範囲		モデル名		SK30UR-5	SK38UR	SK50UR-5	SK75UR-5	SK75SR-3
		後方小旋回		後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	後方小旋回	後方超小旋回
		適用号機		PR09001~	PQ00101~	YJ09501~	YR08501~	YT25001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	12.7~14.1 図-07	12.7~14.1 図-07	12.7~13.9 図-07	11.5±0.7 図-07	11.5±0.7 図-07

適用範囲		モデル名		SK75SR+	SK125SR	SK130SR+	SK130UR-2	SK135SR-2
		後方超小旋回		後方超小旋回	後方超小旋回	後方超小旋回	超小旋回	後方超小旋回
		適用号機		YT18001~	YV05501~	YV05501~	YX02501~	YY15001~
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
達動力置伝	作業機速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	S	11.5±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07	11.0±0.7 図-07

旋回速度

- ・エンジン ; ハイアイドル
- ・作動油温 ; 50±5℃
- ・作業モード ; S又はMモード
- ・クッションストロークを除く作動時間
- ・バケット空荷で平坦地
- ・ブームシリンダ/アームシリンダ/バケットシリンダ最伸
- ・方法
旋回レバーをフルストローク操作して旋回する。
一回転走後の二回転に要する時間を測定し、
一回転当りの所要時間を算出する。



旋回速度測定姿勢(最小リーチ)

図-07